

## 市史編集事業デジタルアーカイブ制作業務委託について事業概要が分かる資料

社会教育部 中央図書館

### 1 市史編集事業の内容

市史編集事業は、中央図書館内の市史資料室において、市の歴史的資料を保存し、市民に公開し、また後世に伝える業務を行っています。令和2年度の予算額は、資料調査員への謝礼など4,127千円でした。令和3年度の予算額は19,891千円で、15,764千円の増となっています。これは、デジタルアーカイブ制作業務委託事業を実施するためです。

### 2 デジタルアーカイブ制作業務委託事業の概要

この事業は、公益財団法人図書館振興財団が掲げる提案型助成事業「郷土資料・貴重資料等のデジタル化および公開事業」の助成金を受けて実施するものであり、宝塚市教育振興基本計画（後期計画）に掲げる「魅力ある図書館づくり」や「郷土資料の収集と情報の発信を進めます」の取組に基づき、平成28年度に策定された「宝塚市立図書館サービス向上計画」中の「宝塚の文化と郷土の歴史を紹介し、次世代に大切に引き継ぐ図書館をめざします」の具体案である「郷土資料のデジタルアーカイブ化」の実現を目的としています。

内容については、「宝塚市史」「近世絵図」「絵はがき」「西谷村役場文書」「デジタル版たからづか文化財さんぽマップ」「登録文化財旧松本邸」3Dビューアを掲載し、様々なジャンルの資料から郷土を学べるように構成します。市の魅力を構成する郷土資料等をデジタル公開することで、郷土への理解や魅力発見に繋げ、また貴重資料の保存を兼ねることで、図書館サービスの向上の実現を目指します。「登録文化財旧松本邸」3Dビューアは、家に居ながらにして貴重な文化財の室内を歩き回るような疑似体験を提供するなど、コロナ禍での市民の学習意欲の涵養に役立つものです。

### 3 財源内訳

委託料 : 18,238,000円

うち、助成金 : 17,287,000円（公益財団法人図書館振興財団助成金）

一般財源 : 951,000円

※ 一般財源については、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を充当予定です。